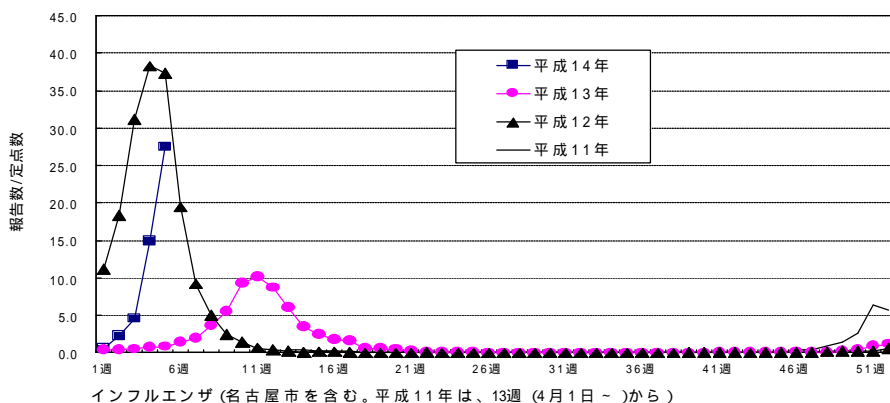


愛知県感染症情報

平成 14 年第 5 週（1 月第 5 週）

（コメント）

インフルエンザは急増していてピークをむかえつつありますので、注意してください。インフルエンザの流行予測については、衛生研究所のホームページ（<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/>）もご覧ください。



（定点の先生方からのコメント）

● 尾張西部地区

- ・ インフルエンザ急増。小児は 33 人。10 歳男 B 型 1 人、他はすべて A 型 2 ヶ月～13 歳、4 歳時に多く、保育園で流行中のよう。ワクチン歴のある児は 3 人。水痘小流行

（一宮市 あさのこどもクリニック）

- ・ インフルエンザ 8 名。その内インフル A・B クイック（生研）* で A 型陽性 4 名、B 型陽性 1 名。

（一宮市 後藤小児科）

インフル A・B クイック*：A 型及び B 型インフルエンザウイルスを検出する迅速診断キットの一種。

- ・ 病原性大腸菌感染者 O1 8 歳女、O126 5 歳女、8 歳女、38 歳女

（尾西市 城後小児科）

- ・ インフルエンザは全て B 型。ワクチン無効例が目立ちます。

（津島市 田中こどもクリニック）

- ・ R S 様の咳が目立つてきました。幼稚園児を中心に下痢（鼻水を伴う）が流行ってるんです。細菌感染のある時は、生研のキットではナイロン膜に吸着してダブルポジティブ（A、B 陽性）になり

ます。インフルエンザは、Aが17人、Bが30人。
(犬山市 武内医院)

- ・ インフルエンザ A、Bとも多いです。インフル A・B クイックは鼻水では反応良好ですが、やはり咽頭拭い液では反応が弱いようで判定まで20分程度かかる例もあります。

(江南市 河野小児科)

- ・ インフルエンザ感染症が増加してきました。インフルエンザ A型9名、B型1名(キャピリア*FluA、Bで判定)
(江南市 みやぐちこどもクリニック)

キャピリア*FluA・B: A・B型インフルエンザウイルスを同時に検出する迅速診断キットの一種。

- ・ A、Bインフルエンザ多くなりました。A・Bクイックで、Aが136名、Bが39名。小学校で学級閉鎖が続いています。B型が大半です。A B両方に反応するケースが12例もありました。ワクチン接種者でも、B型は発熱しますが、A・Bクイックの反応は弱い陽性です。B型では軽微な例も多いようです。タミフル*によく反応しています。(B型)一方でまだ流行していない小学校、幼稚園もあり、保育園での発生はまだありません。
(岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック)

タミフル* : A・B型インフルエンザ治療薬

- ・ インフルエンザが、出現してきました。インフル A・Bクイックにて、A型1名(4歳男)、B型1名(6歳女)。その他にも、症状よりA型インフルエンザと推定される人が増えています。
(シンメトリル* 著効例)

(扶桑町 いずみ内科)

シンメトリル* : A型インフルエンザ治療薬

- ・ インフルエンザ Aがほとんどですが、Bも散見されます。

(稲沢市 稲沢市民病院)

- ・ インフルエンザ減少。インフル A・Bクイック A型陽性5人。B型陽性8人。感染性腸炎が増加。

(新川町 三輪医院)

- ・ A型インフルエンザ(3歳女、4歳男、26歳女2名、37歳女、50歳女)。B型インフルエンザ(13歳男、13歳女2名、17歳男、47歳女)

(師勝町 田中クリニック)

● 尾張東部地区

- ・ インフルエンザ（B型が多い）が増えています。他に3～4日発熱の続く風邪もあるようです。水痘、溶連菌感染症も多くみられます。相変わらずマイコプラズマ肺炎もあります。（瀬戸市 津田こどもクリニック）
- ・ インフルエンザ、今週から急増です。（A型もB型も同じくらい認められます。）3歳女はワクチン2回接種でA型でした。相変わらず学童、幼児にマイコプラズマ感染症、溶連菌感染症多数みられます。その他水痘、流行性耳下腺炎散発。（尾張旭市 佐伯小児科医院）
- ・ インフルエンザで市内小中学校流行（半田市 医療法人林医院）
- ・ 3歳女インフルエンザA、B共に陽性。5歳女インフルエンザA、B共に陽性。近隣の小学校・中学校で学級閉鎖・学年閉鎖・学校閉鎖多い。兄がインフルエンザB型、弟がA型同時発症。ワクチン接種でインフルエンザA 2例。（美浜町 愛知県厚生農業協同組合連合会知多厚生病院）
- ・ インフルエンザFluB 11人、FluA 5人。小中学生に多い。（南知多町 医療法人大岩医院）
- ・ 今週はインフルエンザはA型 11例、B型 2例でした。（春日井市 朝宮こどもクリニック）
*「愛知県感染症情報第4週」の朝宮こどもクリニックのコメントで「A型インフルエンザ 150件」は「15件」の誤りでしたので訂正します。
- ・ 感染性胃腸炎とインフルエンザが流行しています。（春日井市 かちがわ北病院）
- ・ インフルエンザ増加中です。A >> Bです。又、はしかの流行も懸念されます。（小牧市 志水こどもクリニック）
- ・ 溶連菌感染多し。インフルエンザ小流行。A とでは2：1ぐらいか？年長者（12歳前に）はB型が主。（小牧市 小牧市民病院）
- ・ B型が多いです（東海市 東海市民病院）

● 西三河地区

- ・ ロタウイルス腸炎 10ヶ月男（便ロタウイルス抗原検査陽性）。病原性大腸菌 O6 9ヶ月男。

A型インフルエンザ（インフル A・B クイック A（+）31名（男15例、女16例））。B型インフルエンザ（インフル A・B クイック B（+）7名（男3例、女4例））。B型インフルエンザと判定した10ヶ月の男は、抗インフルエンザウイルス剤は使用せず、発熱（40℃）3日目で解熱し、躯幹に発疹を認め、臨床経過からは突発性発疹症と思われます。

（豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック）

- ・ 6歳を境にAとBが区別されます。幼稚園でAが、小中学校はB型が主のようです。

（豊田市 岩瀬小児科）

- ・ インフルエンザ A 10歳以下、B 10歳以上が多い

（豊田市 やふそ小児科）

- ・ インフルエンザ A・B クイック A（+）2名 B（+）11名

（豊田市 保見診療所）

- ・ インフルエンザ B が7名あった。

（岡崎市 小児科延寿堂杉浦医院）

- ・ ロタウイルス 1歳男

（岡崎市 深田小児科）

- ・ 手足口病、りんご病も散発。インフルエンザ B型は北部の幼稚園、小学校で少数あり

（岡崎市 花田こどもクリニック）

- ・ インフルエンザ（AとB 3人、B 22人）、全体の約3分の1です。

病原性大腸菌 O157 V T（-） 7歳男

（岡崎市 にいのみ小児科）

- ・ カンピロバクター 4歳男。8歳女病原性大腸菌 O157。麻疹2例はワクチン未接種児、内1例はB型インフルエンザとの合併例。

インフルエンザ A型 36名、B型 6名、AとB型 4名、内ワクチン接種 6名。2回インフルエンザワクチン接種歴あり（1歳女2人、2歳男女、5歳男、4歳女）、B型インフルエンザ（8歳女、7歳女、1歳男2人、1歳女、10歳男）A型 B型インフルエンザ（11歳、9歳、5歳、11歳男）。

異型肺炎 12歳女、10歳男2人

（岡崎市 水野病院水野小児科）

- ・ インフルエンザ A型 44人、B型 7人、AとB型 1人（キャピリア FluA・Bにて検査）

（幸田町 とみた小児科）

- ・ インフルエンザ 20 名、A 型 17 名、B 型 3 名、ワクチン接種者
(岡崎市 粟屋医院)
- ・ インフルエンザ A 型インフル A・B クイック A(+) (17 歳男、28 歳女、6 歳女と 11 歳男(兄弟)、61 歳女、43 歳(弱陽性)、12 歳男(未検査)、インフルエンザ B 型インフル A・B クイック B(+) (8 歳女と 13 歳と 15 歳男(兄弟)) 全員ワクチン未接種
(岡崎市 永坂内科医院)
- ・ インフルエンザ流行中(A・B 型両方)。生後 1 ヶ月女 A 型インフルエンザ陽性例ありました。
(刈谷市 まついこどもクリニック)
- ・ FluA 2 例、B 6 例
(刈谷市 田和小児科)
- ・ インフルエンザは小学校では B が主体です。ロタウイルス感染症も引き続きいます。カンピロバクター 4 歳男。
(碧南市 永井小児クリニック)
- ・ インフルエンザ A、B は人数同じぐらいです。
(知立市 宮谷こどもクリニック)
- ・ 高齢者のインフルエンザ様の患者なし。キャピリア FluA、B 検査小学生で一人 A、B 両方(+) の子供以外全部 B 型でした。
(安城市 鳥居医院)
- ・ インフルエンザ A 3 名、B 1 名(クイック陽性)
(西尾市 やすい小児科)
- ・ ヘルペス口内炎 1 歳男、インフルエンザ(A・B クイックにて) A 4 名、B 23 名(B 型のうち 5 名は予防接種済み)。
感染性胃腸炎も目立ちました。
(西尾市 山岸クリニック)
- ・ インフル A・B クイック B(+) 3 人。AB 共に(+) 1 人。
(足助町 足助病院)
- ・ インフルエンザが増えてきました。インフル A・B クイック A(+) 17 人、B(+) 12 人。
(三好町 三好町民病院)
- 東三河地区
 - ・ インフル A・B クイック陽性 A 型 5 名 B 型 1 名 インフルエンザ流行中。
(豊橋市 こどもの国大谷小児科)

- ・ ロタウイルス（＋） 4歳男。インフルエンザ B（＋）混合感染（蒲郡市 蒲郡市民病院）
- ・ 小5のクラス、31名中 15名が発熱で欠席の集団かぜ、4名にキャピリア A・B 施行しましたが、いずれも陰性でした。（蒲郡市 医療法人鈴木小児科医院）

（1～3類感染症の発生状況）

細菌性赤痢患者 1名

- ・ 一宮保健所から報告の 25歳女。1/26 発病、1/26 初診、1/30 診定。菌型は、ゾンネ。バリ島渡航歴あり。

（全数把握の 4類感染症の発生状況）

劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1名。

第 3 週（14 年 1 月 15 日～1 月 20 日）の 4 類感染症の全国状況

インフルエンザは九州地方を中心に流行が広がりつつある。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は過去5年間の同時期と比較してやや定点当たり報告数が増えている。感染性胃腸炎は福井県（定点当たり報告数17.6）、宮崎県（16.1）、宮城県（15.2）などで報告が増えている。伝染性紅斑は例年にくらべ報告数がやや多くなっており、秋田県では定点当たり3.4の報告がある。流行性耳下腺炎は2001年第19週より、ここ10年間で最大の定点当たり報告数が持続しており、2002年も年初より報告数が増え、とくに石川県（定点当たり5.7）、長野県（4.7）、沖縄県（5.4）などで報告が増えている。

（Infectious Diseases Weekly Reportより抜粋）

厚生労働省感染症研究所感染症情報センター感染症情報室提供）

愛知県衛生研究所企画情報部（文責 磯村）

庭の隅を明るくしていた蠟梅の花が盛りをすぎ、玄関に持込んだ盆梅が満開となりました（近所の小父さんによれば、あれは盆栽ではなくてただの鉢植えだ）。今回もいつものように貴重な情報を有難うございます。1月前半のまとめをお送りします。

1.名古屋地区：インフルエンザが市内学区単位で発生していますが全市的な特定の型の大発生の傾向はなく、A型とB型の混合流行地区が多く、衛生研究所の検査結果からも特別な変異株ではないようです。現行ワクチンの臨床的有効性について先生方からの情報をいただきたいと希望します。ウイルス性胃腸炎が各地区で流行、峠をこえた地区が多いとのことですがロタウイルス陽性例と陰性例があり腹痛と嘔吐が主体で時に発熱があり、乳幼児・学童主体、脱水で要入院例もありますが全体には軽症が多いようです。（第一日赤有吉先生、城北病院渡辺先生、千種区今枝先生、三菱病院岩間先生、中京病院柴田先生、大同病院水野先生）。その他の気道感染症としてはマイコプラズマを含む肺炎、RSウイルス感染症、高熱を伴う咽頭炎などが発生しています（第一日赤有吉先生、城北・渡辺先生、千種区今枝先生、三菱・岩間先生、中京・柴田先生、大同・水野先生）。その他溶連菌感染症、水痘、ムンプスが全市的に散発中で（中京・柴田先生、労災・山田先生）、城北・渡辺先生から川崎病がやや多く、三菱・岩間先生から非定型的川崎病が目立つ、などの情報をいただき、大同・水野先生からは高熱を伴う出血性結膜炎、第一日赤有吉先生と大同・水野先生からは入院患者で麻疹が目につくとのことのお手紙をいただきました。

2.尾張地区：犬山市武内先生からは感染性胃腸炎が多発中、水痘とインフルエンザBが散発、江南市昭和病院西村先生からは溶連菌感染症、ロタウイルス感染症を含む嘔吐主体の感染性胃腸炎、RSウイルス感染症、麻疹による入院が目立ちインフルエンザA 1例、常滑市民病院上田先生からはロタウイルス感染症を含むウイルス性胃腸炎、RSウイルスによる細気管支炎、マイコプラズマ感染症、溶連菌感染症、手足口病が目立ち、インフルエンザA・B ぼつぼつ、麻疹と水痘の入院が目立ち、市立半田病院小児科からは年末から感染性胃腸炎が目立ち、マイコプラズマ肺炎の発生は相変わらずで麻疹の入院例が散発中とのことのお手紙をいただきました。

3.三河地区：トヨタ病院木戸先生からはロタ陽性/陰性下痢症、RSウイルス感染症、岡崎市民病院系洲先生からはインフルAが散発、RSウイルス感染症、川崎病が目立つ、知立市近藤先生からはロタウイルスがやや多く、インフルエンザの流行、時に要入院例あり、刈谷市田和先生からは溶連菌感染症、ロタ陽性の感染性胃腸炎、インフルエンザAが散発中、碧南市永井先生からは嘔吐・下痢症と溶連菌感染症が目立ちA型主体のインフルエンザが出始めた、豊橋市からはムンプス、インフルエンザ、水痘が散発し長い間なかった麻疹の発生ありとのことのお手紙でした（市内宮澤先生、長屋先生）。有難うございました。

